

資料3 18 三重県における赤潮発生状況(平成17年1月1日~12月31日)

整理番号	発生時期	発生海域	赤潮構成種名	発生状況および発達状況	最大面積 (km <sup>2</sup> )	発生水深 (m)	最高細胞数 (cells/ml)	漁業被害の有無(被害整理番号)	情報源
1 (K-1)	1.6	熊野灘北部 (尾鷲湾)	<i>Mesodinium rubrum</i>	1.6に尾鷲湾の引本浦において <i>Mesodinium rubrum</i> による赤潮が確認された。最高細胞数は矢口0m層と2m層の1,900cells/mlであった。 水色:赤紫色	不明	0-5	M.r. 1,900	無	尾鷲水産研究室
2 (I-1)	2.15 - 3.22	伊勢湾 (南東部)	<i>Chaetoceros sociale</i> <i>Eucampia zodiacus</i>	2.15南知多町豊浜地先において <i>Eucampia zodiacus</i> による赤潮が確認された。その後 <i>Chaetoceros sociale</i> も構成種となり、野間地先まで範囲を拡大し、3.22まで継続した。この赤潮により篠島や師崎など南部を中心にノリ養殖に色落ち被害をもたらした。	>20	0	C.s 40,390 E.z 7,290	有	知多農林水産事務所 知多のり研究会
3 (I-2)	3.2	伊勢湾 (北西部~西部)	<i>Skeletonema costatum</i>	3.2に伊勢湾の北西部から西部(鈴鹿市沖)において <i>Skeletonema costatum</i> による赤潮が確認された。最高細胞数は、楠町0m層における9,600cells/mlであった。2.23頃から密度が増加し、3.2に赤潮が確認されたが、3.9には終息していた。	不明	0	S.c. 9,600	無	三重県漁連 鈴鹿水産研究室
4 (S-1)	3.7	志摩度会 (奈屋浦)	<i>Euglena</i> sp.	3.7に奈屋浦(カサラギ池)において <i>Euglena</i> sp.による赤潮が確認された。最高細胞数はカサラギ池の0m層の5,900 cells/mlであった。	不明	0	E.sp. 5,900	無	くまの灘漁協 南島町水産研究部
5 (S-2)	4.18 - 4.19	志摩度会 (浜島町地先)	<i>Noctiluca scintillans</i>	4.18に浜島町塩鹿浜において <i>Noctiluca scintillans</i> による赤潮が確認された。最高細胞数は0m層における108cells/mlであった。	不明	0	N.s. 108	無	水産研究部
6 (S-3)	4.19	志摩度会 (鳥羽市)	<i>Noctiluca scintillans</i> (推定)	4.19に鳥羽市沿岸(答志島北部)において <i>Noctiluca scintillans</i> (推定)による赤潮が確認された。 水色:橙色	不明	0	不明	無	南勢志摩県民局水産室
7 (I-3)	4.29	伊勢湾 (北西部~西部)	<i>Noctiluca scintillans</i> (推定)	4.29に四日市市から鈴鹿市沖および雲出川河口付近で <i>Noctiluca scintillans</i> (推定)による赤潮が確認された。水色:淡い朱色	>0.5	不明	不明	無	第四管区海上保安部

整理番号	発生時期	発生海域	赤潮構成種名	発生状況および発達状況	最大面積 (km <sup>2</sup> )	発生水深 (m)	最高細胞数 (cells/ml)	漁業被害の有無 (被害整理番号)	情報源
8 (K-2)	5.16 - 5.17	熊野灘北部 (尾鷲湾)	<i>Prorocentrum dentatum</i>	5.16 に海山町矢口浦において <i>Prorocentrum dentatum</i> による赤潮が確認された。最高細胞 数は、5.17 の 2m 層における 39,500cells/ml であった。	不明	0 - 5	P.d. 39,500	無	尾鷲水産研 究室 紀北県民局 水産室
9 (I-4)	5.24	伊勢湾 (北東部)	<i>Skeletonema costatum</i>	5.24 名古屋港南部から野間にかけての伊勢 湾北東部海域において <i>Skeletonema costatum</i> による赤潮が確認された。 水色：(36)	173	0	S.c 70,240	無	しらなみ
10 (I-5)	6.6 - 6.14	伊勢湾 (北東部)	<i>Gymnodinium</i> sp. (Midorishio)	6.6 ~ 14 まで、常滑から野間にかけての伊勢湾 北東部海域において <i>Gymnodinium</i> sp. (Midorishio) による赤潮が確認された。 水色：(42)	126	0	G.sp. 2,410	無	しらなみ 鬼崎漁協
11 (I-6)	6.7	伊勢湾 (西部)	<i>Noctiluca scintillans</i>	6.7 に伊勢湾西部において <i>Noctiluca scintillans</i> による赤潮が確認された。最高細 胞数は、0m 層における 404cells/ml であつた。	不明	0	N.s. 404	無	鈴鹿水産研 究室 水産研究部
12 (S-4)	6.24	志摩度会 (五ヶ所湾)	<i>Heterosigma akashiwo</i>	6.24 に五ヶ所湾相賀浦大池において <i>Heterosigma akashiwo</i> による赤潮が確認 された。最高細胞数は、0m 層における 330 cells/ml であつた。	不明	0 - 9	H.a. 330	無	南勢町水産 種苗センタ ー
13 (I-7)	7.1	伊勢湾 (南西部)	<i>Gymnodinium</i> sp.(Midorishio)	7.1 に伊勢湾南西部において <i>Gymnodinium</i> sp.(Midorishio)による赤潮が確認された。最 高細胞数は、0m 層における 3,950cells/ml だ であった。	不明	0	G.sp. 3,950	無	鈴鹿水産研 究室 水産研究部
14 (S-5)	7.3	志摩度会 (鳥羽市)	<i>Gymnodinium</i> sp.(Midorishio)	7.3 に鳥羽市浦村において <i>Gymnodinium</i> sp.(Midorishio)による赤潮が確認された。最 高細胞数は、0m 層における 42,500 cells/ml であった。	不明	0	G.sp. 42,500	無	鳥羽磯部漁 協 水産研究部
15 (K-3)	7.6	熊野灘北部 (尾鷲湾)	<i>Ceratium furca</i>	7.6 に尾鷲湾奥部において <i>Ceratium furca</i> に よる赤潮が確認された。最高細胞数は、0m 層 における 420 cells/ml であつた。	不明	0 - 5	C.f. 420	無	尾鷲水産研 究室 紀北県民局 水産室

整理番号	発生時期	発生海域	赤潮構成種名	発生状況および発達状況	最大面積 (km <sup>2</sup> )	発生水深 (m)	最高細胞数 (cells/ml)	漁業被害の有無 (被害整理番号)	情報源
16 (S-6)	7.10 - 7.22	志摩度会 (五ヶ所湾)	<i>Heterocapsa circularisquama</i>	7.10 に英虞湾の又吉前において <i>Heterocapsa circularisquama</i> による赤潮が確認された。7.10 に又吉前の 2m 層で 2,410 cells/ml が確認され、7.11 には波切の 2m 層で 492 cells/ml が確認された。その後、発生水域が湾中央部へ拡大した。最高細胞数は、7.10 の又吉前 2m 層における 2,410 cells/ml であった。7.22 に東市場 5m 層で 168 cells/ml が確認されて以降、赤潮は確認されなかった。	不明	0 - 10	H.c. 2,410	無	英虞湾内真珠養殖漁協 水産研究部
17 (I-8)	7.12 - 7.20	伊勢湾 (北中部)	<i>Skeletonema costatum</i> <i>Thalassiosira</i> sp.	7.12 常滑沖の海域において <i>Skeletonema costatum</i> による赤潮が確認された。その後、この赤潮は伊勢湾の北中部へと範囲を拡大し、小型の <i>Thalassiosira</i> sp. に優占種を変化させて 7.20 まで継続した。 水色：(27,45)	640	0	S.c 20,250 T.sp. 51,950	無	しらなみ ちた
18 (I-9)	7.12	伊勢湾 (南東部)	<i>Noctiluca scintillans</i>	7.12 豊浜沖の伊勢湾南東部海域において <i>Noctiluca scintillans</i> による赤潮が確認された。	>13	0	不明	無	しらなみ
19 (I-10)	7.21	伊勢湾 (南東部)	<i>Noctiluca scintillans</i>	7.21 内海から豊浜地先にかけて <i>Noctiluca scintillans</i> による赤潮が確認された。	不明	0	不明	無	漁業生産研 究所
20 (S-7)	7.22	志摩度会 (五ヶ所湾)	<i>Heterocapsa circularisquama</i>	7.22 に五ヶ所湾の相賀浦大池において <i>Heterocapsa circularisquama</i> による赤潮が確認された。最高細胞数は 5m 層における 280 cells/ml であった。	不明	5	H.c. 280	無	南勢町水産 種苗センタ ー
21 (K-4)	8.1	熊野灘北部 (尾鷲湾)	<i>Gymnodinium</i> sp.	8.1 に尾鷲湾矢口浦において <i>Gymnodinium</i> sp.による赤潮が確認された。最高細胞数は、0m 層における 1,400cells/ml であった。	不明	0	G.sp. 1,400	無	紀北県民局 水産室
22 (I-11)	8.2 - 8.4	伊勢湾 (中～南部)	<i>Noctiluca scintillans</i>	8.2 ~ 8.4 にかけて伊勢湾の広範囲で <i>Noctiluca scintillans</i> が確認され、湾の中央部や知多半島沿岸、松阪沖で濃いパッチを形成した赤潮となって確認された。 水色：だいだい色	>67	0	N.s. 1,250	無	鈴鹿水産研 究室 水産研究部 しらなみ 海幸丸

整理番号	発生時期	発生海域	赤潮構成種名	発生状況および発達状況	最大面積 (km <sup>2</sup> )	発生水深 (m)	最高細胞数 (cells/ml)	漁業被害の有無 (被害整理番号)	情報源
23 (S-8)	8.8	志摩度会 (英虞湾)	<i>Heterocapsa circularisquama</i>	8.8 に英虞湾立神において <i>Heterocapsa circularisquama</i> による赤潮が確認された。最高細胞数は、9m 層における 210 cells/ml であった。	不明	5 - 9	H.c. 210	無	水産研究部
24 (S-9)	8.12	志摩度会 (五ヶ所湾)	<i>Heterocapsa circularisquama</i>	8.12 に五ヶ所湾迫間浦において <i>Heterocapsa circularisquama</i> による赤潮が確認された。最高細胞数は、5m 層における 580 cells/ml であった。	不明	5	H.c. 580	無	南勢町
25 (I-12)	8.17	伊勢湾 (中部)	<i>Skeletonema costatum</i>	8.17 伊勢湾中部海域において <i>Skeletonema costatum</i> による赤潮が確認された。 水色：(36)	>216	0	S.c. 9,580	無	しらなみ
26 (S-13)	8.17	伊勢湾 (中部)	<i>Alexandrium affine</i>	8.17 伊勢湾中央部の狭い範囲において <i>Alexandrium affine</i> による赤潮が確認された。この赤潮は、同日に発生している赤潮(整理番号 25)の範囲内で周囲とは異なる水色で発生していた。 水色：(15)	13	0	A.a. 2,580	無	しらなみ
27 (K-5)	8.17	熊野灘北部 (錦)	<i>Heterosigma akashiwo</i>	8.17 に大紀町錦において <i>Heterosigma akashiwo</i> による赤潮が確認された。最高細胞数は、0m 層における 23,300 cells/ml であった。	不明	0	H.a. 23,300	無	尾鷲水産研究室
28 (S-10)	8.19 - 8.24	志摩度会 (英虞湾)	<i>Heterosigma akashiwo</i>	8.19 に英虞湾塩屋浦において <i>Heterosigma akashiwo</i> による赤潮が確認された。最高細胞数は、0m 層における 18,000 cells/ml であった。8.22 には塩屋浦 0m 層において 1,059 cells/ml、8.24 には鴻の浦と塩屋浦 0m 層において最高 4,150 cells/ml が確認された。	不明	0 - 10	H.a. 18,000	無	水産研究部
29 (S-11)	8.22	志摩度会 (的矢湾)	<i>Heterocapsa circularisquama</i>	8.22 に的矢湾渡鹿野島西において <i>Heterocapsa circularisquama</i> による赤潮が確認された。最高細胞数は、0m 層における 115 cells/ml であった。	不明	0 - 2	H.c. 115	無	若狭大月真珠養殖株式会社
30 (S-12)	8.23	志摩度会 (的矢湾)	<i>Gymnodinium pulchellum</i>	8.23 に的矢湾中崎において <i>Gymnodinium pulchellum</i> による赤潮が確認された。最高細胞数は、0m 層における 23,000 cells/ml であった。	不明	0	G.p. 23,000	無	水産研究部

整理番号	発生時期	発生海域	赤潮構成種名	発生状況および発達状況	最大面積 (km <sup>2</sup> )	発生水深 (m)	最高細胞数 (cells/ml)	漁業被害の有無 (被害整理番号)	情報源
				胞数は、0m層における23,000cells/mlであった。					
31 (S-13)	9.8 - 10.3	志摩度会 (五ヶ所湾)	Prymnesiales <i>Calyptrosphaera</i> sp. <i>Cochlodinium</i> <i>polykrikoides</i>	9.8に五ヶ所湾磯浦においてPrymnesialesによる赤潮が確認された。最高細胞数は、2m層における1,350cells/mlであった。9.16には優占種が <i>Calyptrosphaera</i> sp.に変わり、その後 <i>Cochlodinium polykrikoides</i> との混合赤潮を形成した。9.27には、 <i>Calyptrosphaera</i> sp.の最高細胞数が0m層で360,000 cells/mlとなり、9.28には <i>Cochlodinium polykrikoides</i> の最高細胞数が0m層で4,160 cells/mlであった。その後10.3まで続いた。	不明	0 - 10	P. 1,350 C.sp. 360,000 C.p. 4,160	無	南勢町 水産研究部 くまの灘漁協 南勢志摩県 民局水産室
32 (I-14)	9.12 - 9.17	伊勢湾 (北東部)	<i>Thalassiosira</i> sp. <i>Chaetoceros</i> sp. <i>Skeletonema</i> <i>costatum</i>	9.12常滑市沖の中部国際空港周辺において <i>Thalassiosira</i> sp.などによる珪藻赤潮が確認された。その後、知多市沖や名古屋港南部でも発生が確認され、9.17まで続いた。 水色：(33,36)	320	0	T.sp. 21,150 C.sp. 17,700 S.c. 11,950	無	しらなみ
33 (S-14)	9.21	志摩度会 (方座浦)	<i>Mesodinium</i> <i>rubrum</i>	9.21に南島町方座浦において <i>Mesodinium rubrum</i> 赤潮が確認された。最高細胞数は、0m層の2,500cells/mlであった。	不明	0 - 5	M.r. 2,500	無	南島町水産 種苗センタ ー
34 (I-15)	9.24	伊勢湾 (中央部)	種不明	9.24伊勢湾中央部において、幅約0.5km、長さ約3kmの範囲内で種不明の赤潮が確認された。 水色：淡い朱色	1.5	0	不明	無	第四管区海 上保安本部
35 (I-16)	10.12	伊勢湾 (北東部)	<i>Skeletonema</i> <i>Costatum</i> <i>Chaetoceros</i> sp.	10.12名古屋港南部の知多市沿岸域において <i>Skeletonema costatum</i> などによる珪藻赤潮が確認された。 水色：(45)	25	0	S.c. 10,000 C.sp. 4,540	無	しらなみ
36 (S-15)	10.14	志摩度会 (五ヶ所湾)	<i>Skeletonema</i> <i>costatum</i>	10.14に五ヶ所湾磯浦から相賀浦において <i>Skeletonema costatum</i> による赤潮が確認された。最高細胞数は、0m層の19,500cells/mlであった。	不明	0 - 10	S.c. 19,500	無	南伊勢町

整理番号	発生時期	発生海域	赤潮構成種名	発生状況および発達状況	最大面積 (km <sup>2</sup> )	発生水深 (m)	最高細胞数 (cells/ml)	漁業被害の有無 (被害整理番号)	情報源
37 (I - 17)	10.20 - 11.2	伊勢湾 (中部・南西部)	<i>Scrippsiella trochoidea</i>	10.20 中部国際空港沖の伊勢湾中央部において <i>Scrippsiella trochoidea</i> による赤潮が確認された。その後、松阪沖や二見浦沖でも確認され、11.2 まで継続した。最高細胞密度は、10.28 における 0m 層の 22,500cells/ml であった。 水色：(27)	>80	0	S.t. 22,550	無	鈴鹿水産研究室 水産研究部 しらなみ
38 (S - 16)	10.27 - 11.2	志摩度会 (的矢湾)	<i>Scrippsiella trochoidea</i>	10.27 的矢湾渡鹿野島東(中崎)において <i>Scrippsiella trochoidea</i> による赤潮が確認された。最高細胞数は 11.2 の国府宮潟浦 0m 層における 14,550 cells/ml であった。	不明	0	S.t. 14,550	無	水産研究部 志摩市 南勢志摩県 民局水産室
39 (I - 17)	11.24	志摩度会 (元方座浦)	<i>Mesodinium rubrum</i>	11.24 に元方座浦において <i>Mesodinium rubrum</i> による赤潮が確認された。最高細胞数は、0.5m 層の 860 cells/ml であった。	不明	0.5	M.r. 860	無	水産研究部 立神真珠養 殖漁協
40 (S - 18)	11.29 - 12.12	志摩度会 (的矢湾)	<i>Karenia</i> sp.	11.29 的矢湾千賀港および国府宮潟浦において <i>Karenia</i> sp.による赤潮が確認された。最高細胞数は、国府宮潟浦の 1m 層における 13,000 cells/ml であった。本種は <i>Karenia longicanalis</i> に類似しているが、新種の可能性もある。 水色：(33-42)	不明	0 - 4.5	K.sp. 13,000	有	水産研究部 南勢志摩県 民局水産室
41 (K - 6)	11.29	熊野灘北部 (白浦)	<i>Mesodinium rubrum</i>	11.29 に紀北町の白浦において <i>Mesodinium rubrum</i> による赤潮が確認された。最高細胞数は、0.5m 層の 940cells/ml であった。	不明	0.5	M.r. 940	無	紀北県民局 水産室
42 (S - 19)	12.7	志摩度会 (五ヶ所湾)	<i>Cochlodinium polykrikoides</i>	12.7 に五ヶ所湾の五ヶ所浦において <i>Cochlodinium polykrikoides</i> による赤潮が確認された。最高細胞数は、0m 層の 630cells/ml であった。	不明	0	C.p. 630	無	南伊勢町南 勢種苗セン ター
43 (K - 7)	12.26	熊野灘北部 (尾鷲湾)	<i>Prorocentrum dentatum</i>	12.26 に尾鷲湾白石湖において <i>Prorocentrum dentatum</i> による赤潮が確認された。最高細胞数は、4m 層の 21,750 cells/ml であった。	不明	4	P.d. 21,750	無	水産研究部 若狭大月真 珠養殖株式 会社

【備考】

1. *H.circularisquama* は 100cells/ml 以上を赤潮として扱った。

【注】

1. 「整理番号」は、発生時期の順に一連番号を記載し、( ) 内には発生海域毎に一連番号を記載した。(I、S、K はそれぞれ伊勢湾、志摩度会、熊野灘北部の各海域を示す。)
2. 2 あるいは 3 海域にまたがって発生した場合は、各海域のそれぞれに発生したものとして扱った。従って、例えば 2 つの海域にまたがって発生した場合は、1 つの発生に対して 2 つの整理番号を与え、発生件数は 2 件とカウントした。
3. 「発生時期」は、発生が確認された日から消滅日までを記載することを基本としたが、同一海域で発生、消滅（一時的な細胞数の減少）を繰り返したものについては、最初の発生から最後の発生まで（完全な赤潮の終息まで）を 1 単位として記載した。
4. 水色表示の ( ) 内は、赤潮情報伝達事業、赤潮調査事業水色カードの番号で示した。